

# 第 137 回触媒討論会(触媒討論会B・特別シンポジウム)

日時 2026年3月23日(月), 24日(火)

会場 東京科学大学 大岡山キャンパス

主催 触媒学会 協賛 日本化学会

B1 講演 10分 討論 15分, B2 講演 20分 討論 5分, B3 講演 10分 討論 10分

3月23日(月)

A 会場	B 会場
<b>触 媒 討 論 会 B</b>	
<p>9:00~10:40 座長 山口渉(神戸大)・藪下瑞帆(東北大)</p> <p>1A01 (B1) 濾過・濃縮のみを精製操作とする高収率かつ大量合成可能なN-Hケチミンの合成法の開発とその応用(乙卯研*1・東京農業大*2)○柴田真太郎*1・尾中篤*2</p> <p>1A02 (B1) カーボン担持部分配位子保護Au<sub>n</sub> (n = 25, 144, 329)クラスター触媒によるβ-アミノケトン脱水素化反応でのサイズ特異性評価(東京大)○坂本光翼・増田晋也・谷田部孝文・高野慎二郎・山口和也・佃達哉</p> <p>1A03 (B1) Rh系酸化物クラスター触媒によるアレーンとアルキンの酸化的クロスカップリング反応(横浜国大*1・物材機構*2)○長谷川慎吾*1・楠碧彩*1・高澤豪太*1・原野幸治*2・本倉健*1</p> <p>1A04 (B1) 担持Au-Pd合金ナノ粒子触媒による非芳香族化合物を基質としたアゾベンゼン合成(東京大)○谷田部孝文・林成辰・木村平蔵・矢部智宏・山口和也</p> <p>10:55~12:10 座長 芳田嘉志(金沢大)・志村勝也(産総研)</p> <p>1A05 (B1) マルチオペランド計測による電流印加メタンドライリフォーミングの非熱的駆動メカニズムの解明(分子研*1・早稲田大*2・総合研究大*3)○斎藤晃*1・手塚玄惟*2・松本宜樹*2・長坂将成*1,3・佐藤宏祐*1・関根泰*2・杉本敏樹*1,3</p> <p>1A06 (B1) O<sub>2</sub>存在下でのCO<sub>2</sub>回収水素化によるCH<sub>4</sub>生成に有効なAl<sub>2</sub>O<sub>3</sub>担持Ru-Ni-K多元機能触媒(工学院大*1・さきがけ*2・東京大*3・北海道大*4)○前野輝*1,2・菊田皓雅*1・宿谷蒼馬*1・安村駿作*3・安齊亮彦*4・鳥屋尾隆*4・清水研一*4・小倉賢*3・並木則和*1</p> <p>1A07 (B1) 酸化物担持Ni触媒でのCO<sub>2</sub>とNH<sub>3</sub>からのCH<sub>4</sub>合成における反応機構および担体効果(名古屋大*1・宇部マテリアルズ*2)○上田祐司*1,2・山田博史*1・永岡勝俊*1・佐藤勝俊*1</p>	<p>9:00~10:40 座長 影島洋介(信州大)・田中淳皓(近畿大)</p> <p>1B01 (B1) 深共晶溶媒反応場が制御するCO<sub>2</sub>還元光触媒活性と酸素耐性能の解明(東京科大*1・九州大*2・広島大*3)○小野寺丈*1・張嫻*2・田中寿弥*1・仲田竜一*1・岡崎めぐみ*1・樽谷直紀*3・片桐清文*3・前田和彦*1</p> <p>1B02 (B1) 層状酸ハロゲン化合物光触媒の粒子表面設計による酸素生成活性の向上(京都市大*1・さきがけ*2・高エネ研*3・岡山山*4)○鈴木肇*1,2・南本健吾*1・石井佑典*1・富田修*1・中田明伸*1・野澤俊介*3・山方啓*4・阿部竜*1</p> <p>1B03 (B1) コア・シェル型Ag@Cr助触媒を担持したTa-rich ZnTa<sub>2</sub>O<sub>6</sub>光触媒のH<sub>2</sub>Oを電子源とするCO<sub>2</sub>還元活性(京都市大*1・住友金属鉱山*2)○川田稀士*1,2・井口翔之*1・浪花晋平*1・西本大夢*2・寺村謙太郎*1</p> <p>1B04 (B1) ガス拡散型反応器による光触媒水分解の逆反応抑制(豊田中研)○河瀬侑大・宇山健・坂本直柔・野中敬正・高橋秀治・森川健志</p> <p>10:55~12:10 座長 岩瀬顕秀(明治大)・久富隆史(信州大)</p> <p>1B05 (B1) 層状酸窒化物光触媒K<sub>2</sub>LaTa<sub>2</sub>O<sub>6</sub>Nに対するカチオンドープの影響(東京科大*1・物材機構*2・高エネ研*3・大阪大*4・東京都大*5・岡山山*6)○土角英也*1・CRUTU, Ovidiu*2・木下裕貴*1・服部真史*1・城間裕太*1・東曉樊*3・岡崎めぐみ*1・相馬拓人*1・石割文崇*4,5・野澤俊介*3・横井敏之*1・原亨和*1・木本浩司*2・佐伯昭紀*4・山方啓*6・前田和彦*1</p> <p>1B06 (B1) 電気化学的酸素発生反応に対する鉄系MOF触媒の活性向上要因の解明(東京科大)○菅原勇貴・孫福幹太・山口猛央</p> <p>1B07 (B1) 酸素発生反応におけるFe-Co-Ni系酸化物触媒の再構築挙動の解明(北海道大)○北野翔・長尾知哉・岩井愛・伏見公志・幅崎浩樹</p>
<b>ポスター発表(P 会場)</b>	
<p>12:15~13:45</p> <p>13:55~15:10 座長 鳥屋尾隆(北海道大)・大島一真(九州大)</p> <p>1A08 (B1) Fe系触媒上でのCO<sub>2</sub>水素化反応における生成物選択性制御(富山大)○保田修平・項文傑・外岡未有・塚本和起・椿範立</p> <p>1A09 (B1) 逆水性ガスシフト反応における担持Pd触媒へのMn修飾効果(京都市大)○浪花晋平・岡晋太郎・井口翔之・寺村謙太郎</p> <p>1A10 (B1) 水素スピルオーバー駆動型CO<sub>2</sub>水素化反応の開拓(大阪大)○俊和希・木俣拓海・森浩亮</p>	<p>13:55~15:10 座長 喜多祐介(京都市大)・多田昌平(北海道大)</p> <p>1B08 (B1) 同位体可視化に基づくPd/CeO<sub>2</sub>-ZrO<sub>2</sub>触媒の酸素吸蔵・放出サイトと輸送経路に関する考察(東京科大)○長澤剛・渡辺侑希・徳増優志</p> <p>1B09 (B1) 非還元的CO<sub>2</sub>変換反応におけるCeO<sub>2</sub>触媒のモルフォロジーや酸素欠陥の真の寄与(東北大*1・国立台湾大*2)○三原祥元*1・藪下瑞帆*1・李英愛*1・中川善直*1・游文岳*2・吳嘉文*2・富重圭一*1</p> <p>1B10 (B1) Bi-Zr化合物によるCO<sub>2</sub>からギ酸合成における局所pH効果(九州大)○高岡祐太・SONG, Jun Tac・渡邊源規・稲田幹・石原達己</p>
<b>デジタル多目的ホール</b>	
<p>15:30~16:30 座長 山中一郎(東京科大)</p> <p>特別講演 物質探索から固体電池へーリチウムとヒドリドを中心にー(東京科大)○菅野了次</p>	
<p>16:40~17:00 理事会からの報告</p>	
<p>17:10~17:50 2025年度触媒学会表彰受賞者表彰式</p>	
<p>18:10~20:10 触媒学会懇親会(東京科学大学大岡山キャンパス ツバメテラス)</p>	

3月24日(火)

A 会場	B 会場	C 会場
<b>触媒討論会 B</b>		
<p>9:00~10:20 座長 谷田部孝文(東京大)・高垣敦(横浜国大)</p>	<p>9:00~10:20 座長 桑原泰隆(大阪大)・大友亮一(北海道大)</p>	<p>9:00~10:20 座長 稲垣怜史(横浜国大)・山本修身(本田技術研究所)</p>
<p>2A01 (B3) Pt/SiO<sub>2</sub> 触媒を用いたニコチンアミド誘導体水素化による補酵素NAD<sup>+</sup>のC4位選択的還元(大阪科大*1・京都大*2)○平野誠人*1・小野寺渉*2・田村正純*2・天尾豊*1</p>	<p>2B01 (B3) かご型シロキサン架橋型多官能性多孔質シリカ担体の創製(早稲田大*1・中央大*2)○増田拓海*1・吉川皓陽*1・疋野拓也*2・下嶋敦*1・関根泰*1</p>	<p>2C01 (B3) エタノールからブタジエンへの多段階変換に向けたBetaゼオライト上のヘテロ金属組み合わせの検討(静岡大)○森田洋平・孔昌一・茂木堯彦</p>
<p>2A02 (B3) アセチレン半水素化に有効な酸化ネオジム担持Ni系合金触媒の開発(大阪大)○田中威頼・中谷勇希・古川森也</p>	<p>2B02 (B3) 鉄系ペロブスカイト酸化物の組成制御によるアルカン選択酸化触媒の高機能化(東京科大*1・東京大*2)○山本昌尚*1・和知慶樹*2・相原健司*1・鎌田慶吾*1</p>	<p>2C02 (B3) Pd担持ゼオライトにおけるC<sub>3</sub>H<sub>6</sub>共存下でのNO<sub>x</sub>脱離温度の低温化メカニズム(名古屋大*1・鳥取大*2・北海道大*3)○大津岳士*1・宮崎太暉*1・津野地直*2・織田晃*3・薩摩篤*1</p>
<p>2A03 (B3) 酸性モンモリロナイト触媒とシラン還元剤によるオレフィンまたはメチレン化合物を生成するケトンの還元的脱酸素反応の開発(東京農業大*1・乙卯研*2)○田中義貴*1・柴田真太郎*2・山本巧実*1・小澤優之介*1・宮沢玲*1・古泉桃花*1・石川明*1・橋本貴美子*1・尾中篤*1</p>	<p>2B03 (B3) 結合切断過程に基づいたRh表面およびRh/金属酸化物界面における酢酸合成経路の効率的な探索(早稲田大)○千島健伸・増田拓海・三瓶大志・七種紘規・服部朔弥・関根泰</p>	<p>2C03 (B3) 構造体触媒を用いたCarbon LoopingによるCO<sub>2</sub>の資源化—C固定化場のプロセス強化—(静岡大)○中澤優・山田祐生・赤間弘・渡部綾・福原長寿</p>
<p>2A04 (B3) 2級カルボン酸の光触媒反応における反応中間体ラジカルの溶媒組成依存性(名古屋大*1・京都大*2)○丸山莉子*1・黄海帆*2・吉田寿雄*2・熊谷純*1</p>	<p>2B04 (B3) Rhクラスター触媒におけるステレンのヒドロホルミル化に対するサイズ効果(大阪大*1・北海道大*2)○岡田碧斗*1・中谷勇希*1・田中威頼*1・宮崎玲*2・長谷川淳也*2・古川森也*1</p>	<p>2C04 (B3) Cu-supported La<sub>2</sub>O<sub>3</sub>/ZnO catalyst for CO<sub>2</sub> hydrogenation to methanol(Tokyo Metropolitan Univ.)○PAN, Jinjian・WEI, Zenghao・MATSUYAMA, Takechiro・MIURA, Hiroki・SHISHIDO, Tetsuya</p>
<p>10:35~12:15 座長 峯真也(産総研)・西村俊(北陸先端大)</p>	<p>10:35~12:15 座長 大山順也(熊本大)・濱口豪(豊田中研)</p>	
<p>2A05 (B1) 水素化アルミニウム修飾メゾスケール鉄粒子触媒による高効率アンモニア合成(東京科大)○服部真史・原亨和</p>	<p>2B05 (B1) 単原子Cu活性点を有する規則性炭素化合物構造体による電気化学的CO還元反応(東北大*1・Queen Mary Univ. London*2・九州大*3)○吉井文晴*1・千田晃生*1・井上真隆*1・清水俊介*1・ZHAO, Qi*2・DI TOMMAS, Devis*2・谷文都*3・西原洋知*1</p>	
<p>2A06 (B2) RuO<sub>2</sub>/CeO<sub>2</sub>-ZrO<sub>2</sub>上の煤酸化におけるNO<sub>x</sub>の効果(田中貴金属*1・産総研*2・長崎大*3)○久保仁志*1・大嶋優輔*1・加藤俊祐*1・齋藤徳之*2・吉澤徳子*2・中越修*3・田邊秀二*3</p>	<p>2B06 (B1) 配位高分子ガラスを利用した二酸化炭素還元触媒系(京都大)○田部博康・堀毛悟史</p>	
<p>2A07 (B2) Ni/CeO<sub>2</sub> 触媒におけるCO<sub>2</sub>メタン化反応の低温活性向上に関する検討(東京ガス*1・北海道大*2)○塚田佳子*1・隼瀬俊輔*1・佐藤洗基*1・武谷亮*1・森大和*2・多田昌平*2・菊地隆司*2</p>	<p>2B07 (B1) 重炭酸イオンからギ酸イオンへの電極触媒変換における多孔質中間層の役割(京都大)○天野史章・野本晃汰・下山雄人・宍戸哲也</p>	
<p>2A08 (B2) RWGS反応を低温で高速処理するCu/Zn系スパイラル形触媒によるCO<sub>2</sub>変換技術の展開(静岡大)○赤間弘・仲澤佑真・渡部綾・福原長寿</p>	<p>2B08 (B1) AEM型リアクターを用いたコバルト触媒による含窒素芳香族化合物の電解水素化(横浜国大*1・さきがけ*2・大阪大*3・物材機構*4・京都大*5)○信田尚毅*1,*2・米澤明純*1・清水勇吾*1・原田珠里*1・栗原諒*3・原野幸治*4・神谷和秀*3・井口翔之*2,*5・跡部真人*1</p>	

12:20~13:50

ポスター発表(P会場)

特別シンポジウム

<p>テーマ1「均一系触媒による高分子合成・分解の最前線」</p>	<p>テーマ2「カーボンニュートラルな合成燃料製造技術の現在と未来を考える」</p>	
<p>14:00~17:20 オーガナイザー 野崎京子(東京大)</p>	<p>14:00~17:20 オーガナイザー 里川重夫(成蹊大)</p>	
<p>14:00~14:10 開会の挨拶&amp;全体総括 野崎京子(東京大)</p>	<p>14:00~14:10 開会の挨拶&amp;全体総括 里川重夫(成蹊大)</p>	
<p>SA01(14:10~14:40) 高性能分子触媒が拓く新材料の創製, 定量的なケミカルサイクル(東京大)○野村琴広</p>	<p>SB01(14:10~14:40) カーボンニュートラルを達成した日本の将来像(横浜国大)○光島重徳</p>	

3月24日(火)

A会場	B会場	C会場
<p>SA02(14:40～15:10) 難溶性樹脂分解のための炭素一酸素/炭素一窒素結合開裂触媒の開発(理研)○高橋講平</p> <p>SA03(15:10～15:40) 有機テルル化合物を用いたリビングラジカル重合(TERP)の工業化(大塚化学)○廣井良一</p> <p>SA04(15:45～16:15) アルミノキサンの局所構造に着目したオレフィン重合触媒系での素反応制御(広島大)○田中亮</p> <p>SA05(16:15～16:45) エチレン・酢酸アリル共重合反応における均一系触媒の開発(クラサスケミカル)○黒田潤一</p> <p>16:45～17:15 パネルディスカッション オーガナイザー, 講師</p> <p>17:15～17:20 閉会の挨拶 野崎京子(東京大)</p>	<p>SB02(14:40～15:10) 持続可能社会の実現に向けた Honda におけるカーボンニュートラル燃料の取り組み(本田技術研究所)○山本修身</p> <p>SB03(15:10～15:40) 東洋エンジニアリングにおける合成燃料の取り組み(東洋エンジニアリング)○寺井聡</p> <p>SB04(15:45～16:15) 燃料品質・燃料適合性から見た触媒開発への期待(カーボンニュートラル燃料技術セ)○岡本憲一</p> <p>SB05(16:15～16:45) 世界の合成燃料製造技術動向(アイシーラボ)○室井高城</p> <p>16:45～17:15 パネルディスカッション オーガナイザー, 講師</p> <p>17:15～17:20 閉会の挨拶 里川重夫(成蹊大)</p>	